

下野市図書館協議会 議事録

審議会等名 令和2年度 下野市第4回図書館協議会
日 時 令和2年12月11日(金) 9時30分から11時50分まで
会 場 下野市役所 3階 303会議室
出席者 青木委員長、鈴木副委員長、大垣委員、晴山委員、小林委員、宮川委員、
設楽委員
市側出席者 (事務局) 池澤教育長、清水教育次長、篠崎課長、浅香課長補佐、
伊澤館長補佐
(指定管理) 倉井石橋図書館総括管理運営責任者、和田石橋図書館管理
運営責任者、小畑国分寺図書館管理運営責任者、
池田南河内図書館管理運営責任者
【欠席委員】 下山委員、松本委員、高木委員

公開・非公開の別 (公開) ・ 一部公開 ・ 非公開)

傍聴者 0人

報道機関 0人

議事録(概要) 作成年月日 令和3年3月3日

議 題

- (1) 図書館基本計画(第二次)(案)について
- (2) 令和2年度図書館評価について
- (3) その他

【協議事項等】

1 開会 <浅香課長補佐>

2 あいさつ

<青木委員長> 朝早くから暮れの忙しい時期にご出席いただきありがとうございます。今年には経験したことのないコロナ感染症で、色々と試行錯誤しながら図書館運営にあたっていただいた各図書館関係者の方に感謝申し上げます。コロナ禍の一日も早い収束と普通の暮らしが当たり前になることを願いながら私の挨拶としたい。今日はよろしく願いいたします。

<池澤教育長> 新型コロナウイルス感染症の影響で3月から誰も経験したことのない全国一斉臨時休校を経験した。6月1日から再開されたが栃木県は800名を超える罹患者が出ている。こんな中で図書館基本計画の策定に大変な労力と時間を費やしていただき感謝する。学校においては26日から1月7日まで通常通り冬休みを実施する予定であり修学旅行も全校実施できた。陽性者も出ておらず新しい生活様式を守りながら頑張っている。先週、図書館の本が消毒できるようになったと新聞で紹介された。管理も大変だと思うが市民の安心を保障する素晴らしい機械だと思うのでよろしく願いして挨拶とする。

3 議題

(1) 図書館基本計画（第二次）（案）について

【質疑等】

青木委員長 事務局から説明をお願いします。

事務局 前回から変更した点について、図書館基本計画（第二次）（案）により説明。

青木委員長 何か質問がある方は挙手願う。

高木委員 14ページの追加のオ)の部分で、既に検温器も除菌機も設置されている中でこれからも増やすことも見通してこの文を入れたのか。

事務局 検温器や除菌機の設置をさらに追加するというのではなく、例えば手指消毒液を常に置いておく等、環境整備に努めるということで記入した。

青木委員長 よろしいでしょうか。他に質問がないようなら次の議題に移る。

(2) 令和2年度図書館評価について

【質疑等】

青木委員長 事務局と各図書館から説明をお願いします。

事務局 本日の資料は10月末の基準日で載せているが、例年は12月末日を基準日としているので、12月までの数値が出たら改めて1月下旬に郵送する。

令和2年度報告（基幹的業務・3館合同の取組）により説明。

石橋図書館 令和2年度事業評価シートにより説明。

国分寺図書館 令和2年度事業評価シートにより説明。

南河内図書館 令和2年度事業評価シートにより説明。

青木委員長 評価について質問がある方は挙手願いたい。

小林委員 デイジー図書の収集と購入はどういう形で進めていくのか。

事務局 デイジー図書は主に市の広報誌や議会だより、行政カレンダー等をCDに入力して目の不自由な方や小さい字が読み難い方に対して貸出を行うもので、図書館カウンター等に置いて目に留まりやすいようにしている。その他には市販の小説等をアナウンサーや俳優が読んでいるもの等を収集して貸出ている。

青木委員長 これまでに質問があれば挙手願いたい。吹き出しやら工夫されている。

小林委員 子ども向けとか児童発達障がいとか字が読み取り難いお子さん向けのマルチメディア図書等はどうか。

事務局 宮沢賢治作品等はある。今度の「子ども読書活動推進計画」の中でそういったハンディキャップをもつ子ども向けの資料を充実させるということも謳われているので、これから積極的に収集する予定ではいる。

小林委員 先日、県の講座で国分寺出身の専修大学文学部の野口教授の講義を受けたのだが、伊藤忠記念財団で障がいをもつ子ども向けのマルチメディア書籍を公共図書館や学校に無償提供してくれるということなので、活用してはいかがか。

事務局 県内で既に実施している図書館もあるので情報を得ながら来年度から下野市でもやる予定でいる。情報ありがとうございます。

小林委員 ぜひお願いしたい。

青木委員長 伊藤忠財団では石橋か国分寺で以前何かいただいたのがあったと思うが。

事務局 ボランティア活動に対して、何年か前に石橋図書館で開催したわらべ歌等の講座や、先日国分寺図書館で行った清水先生の講演会等も伊藤忠のものを活用し

- て実施している。「物」についてはこれからの利用になる。
- 青木委員長 だいぶ前に薬師寺小学校の学童保育で本を購入した。伊藤忠以外にも有益基金も活用していただければと思う。ひとつ私から質問したい。国分寺図書館のティーンズ読書クラブをもう少し発展させたいという希望や計画はあるか。
- 国分寺図書館 ティーンズ読書クラブは基本的に子どもたちが自分で考え、「こうやりたい」というものを我々がサポートしている。読書会同様、自分のおすすめの本をクラブの子たちに向けて紹介するというのを毎月やっていたが、それだけではメンバーが増えないことに子どもたち自身が気づき、広報活動に力を入れたいとか他にも活動があるのでは、と模索している。まだ何か発表する段階ではない。
- 青木委員長 了解した。除菌機が導入されたのでリサイクル本を除菌してから提供する考えはないか。
- 石橋図書館 持って帰るお客様が除菌機を利用していただくということでご案内していこうと思っている。1回に6冊入るのできれいにして持って帰れる。
- 青木委員長 自分でやって持って帰るといことですね。
- 石橋図書館 できればそうお願いしたい。今の利用形態も貸出した本はお客様自身が除菌する、返却された本は私どもが除菌機に入れて除菌するということをやっている。リサイクル本は結構な数になるので全部除菌するとなると時間もかかるので、できれば皆さんに機械を活用していただければと思っている。
- 小林委員 国分寺図書館のレイアウトについて。1階正面玄関には様々なコーナーがありインパクトがあってすごく良いと思う。一方、児童コーナーに入ってすぐの本を立て掛けるタイプの棚がいつもガラ空きである。絵本は表紙を見せた方が子どもたちも手に取りやすい。他館はぎっしり立てかけてあるが国分寺はなぜ空いているのか。おすすめ本を選書するスタッフは特に配置されていないのか。
- 国分寺図書館 季節のものを置く棚で、随時出してはいるもののすぐに借りられてストックが溜まらない状態である。
- 小林委員 新刊の裏の棚なのでもったいないと思うのだが。
- 国分寺図書館 巡回の時など気づいたらやるようにしているが追いつかない状況。気を付ける。
- 大垣委員 学校への貸出はすごくいいことだと思う。昔、国分寺町で保育園に移動図書館という月1回職員が本を持ってきてくれて子どもたちが借りるということがあった。今は状況的には難しいと思うが、図書館からの貸出ということをやった時から絵本を読むきっかけが本に繋がると思うので、できれば保育園や幼稚園の年長の子たちへの貸出を考えていただけたらと思う。
- 国分寺図書館 まずは広報をしていってそこから段階的にやっていこうかと考えている。
- 大垣委員 よろしく願います。
- 青木委員長 保育園は保育園運営の保護者の方とか職員の方へ団体貸出ができますよね。
- 石橋図書館 各保育園・幼稚園の先生もしくは保護者が園の団体カードを作り来館の上貸出をしている。学校へ持って行くようなサービスはまだできていない。もっとサービスをという趣旨かと思うが、現在は借りに来ていただいている状況である。
- 大垣委員 本があることで子どもたちが実際にそれを保育園や幼稚園の中で「借りる」ということをやっていただけたらなと思う。
- 石橋図書館 貸出そのものを経験させるということですよ。

大垣委員 はい。子どもたちが実際に小さい時に経験して、そのまま興味を持って図書館に繋がるという形で。

青木委員長 図書館の職員が本を持っていく移動図書館車みたいに。

大垣委員 そうなるとすごく難しいので、ある程度の冊数を園に持って行って園のスタッフが「ここから借りていいんですよ」と。ある程度冊数がないとそういった経験はできないので。園のスタッフが司書役をやっていただけたら。

小林委員 幼稚園が団体貸出で借りるということではないのか。

宮川委員 今言っているのは「図書館」っていうシステムを経験させるということかと。「本を読む」という経験ではなく「図書館」というシステムがあるんだよということを園児に経験させるということ。

大垣委員 それで「読む」ということに繋がって、「自分で借りる」となる。

宮川委員 それが年に1回でも2回でも日にちを決めて行事として図書館が取り組んで、幼稚園で「図書館というシステムが町にあってね、こういう借り方をすれば本は外でも借りられるんだよ」と。大人が分かって借りるのではなく、子ども自身がお母さんに「行きたい」「こういうことで借りられるらしいよ」ということで図書館に子どもが親を連れて行くという、そういうことをおっしゃっているのかなと私は思う。それでよろしいでしょうか。

大垣委員 はい、そこから興味を持つということ。

青木委員長 昔は図書館で公民館や学校を回っていて、自分のカードで借りることができた。

大垣委員 今の状況だとそれはできないと思うので。

青木委員長 図書館というか事務局の判断を検討していただきたいと思う。人が行くのは大変だとは思いますが興味を持たせることは大事。

晴山委員 石橋図書館ではいろいろなことに取り組みまれて変化していて、見に行くことが楽しみである。西側の円形コーナーのビジネス支援コーナーとはどんなものか。

石橋図書館 これから起業したい方や新社会人になる方に対してハローワークの求人募集のチラシ等を置けるコーナーにしたいと考えている。また、企業でどういったことをやっているとか、会社でのマナー、社会人としての基本的な常識や情報というものを今集めている状況である。

晴山委員 ではまた徐々に変わっていくのか。

石橋図書館 はい。

晴山委員 除菌システムについて。利用者が無意識にできるようになるまでは貸出が終わった時に案内していただきたい。

石橋図書館 分かりました。

晴山委員 高齢者用サービスということで大活字本やCDとある。私がおはなし会をしている時に人数に空きがあったので館内にいた年配の方に声をかけたら「毎回図書館には来ているがおはなし会を聞いたことがなかった。とても癒された。」と言われた。今は外に出られないお年寄りも多いと思うので、高齢者用のおはなし会があれば一番良いが、まずは子どものおはなし会の時に年配の方にも入っていただけたら。お孫さんがこんな本を読んでいるというような情報も得られると思うので、高齢者サービス＝大きい活字本だけではなく、枠を広げて考えていただけないか。全館にお願いしたい。

- 石橋図書館 おはなし会をされている時にスタッフとしても小さいお子さんばかりではなくご高齢の方にもぜひ一緒にどうぞとお声かけできると思う。今後の活動でお声掛けしていきたい。
- 晴山委員 よろしくお願ひしたい。
- 青木委員長 南河内ではお母さん以外の方にもどうぞとは言っているが、なかなか大人は入ってこられない。
- 晴山委員 男性は特にか。
- 青木委員長 男性は珍しいというかあまりいない。孫を連れて来ている方は聞いていく。私から質問だが、国分寺図書館の図書館サポーターとボランティアはどう区別しているのか。
- 国分寺図書館 図書館サポーターは返ってきた本を本棚に戻す配架のお手伝いや、飾りつけを作る等図書館に関する作業をサポートしていただくボランティアである。
- 青木委員長 読み語りのボランティアとの区別をしているのか。
- 国分寺図書館 ボランティアというと読み聞かせをしている方のイメージがあると思うので、サポーターという名称で図書館業務のお手伝いをさせていただいているということである。
- 青木委員長 分かった。他に質問はないか。なければ次に移る。

(3) その他

【質疑等】

- 青木委員長 事務局で何かあればお願ひする。
- 事務局 繰り返しにはなるが図書館評価シートについて、12月末までの数字が出てから1月末頃に送るので、外部評価に意見を書きABC評価を付けて最後の図書館協議会の時に提出していただきたい。もし欠席の場合は3月末までに石橋図書館までお送りいただきたい。
- 青木委員長 3月12日までに評価を提出、来られない方は郵送でということによろしいか。では議題は以上である。色々のご意見をいただき感謝する。

4. その他

- 浅 香 今年にはコロナ禍もあり図書館活動も十分にはできず、委員の皆様にも評価するに当たり評価のつかないところもあるが、なるべく直近の12月末までのデータを送るのでそれを素に評価をしていただきたい。

(1)の議題でご協議いただいた図書館基本計画については1月4日から25日までパブリックコメントを実施する予定。意見が出た場合は正副委員長と事務局に対応を一任していただきたい。特に意見がなければ2月頃に社会教育委員会で教育委員会に対して答申を行い、それにて図書館基本計画が策定されるという段取りになる。若干の字句の修正等があれば最終版を郵送または3月の協議会でお渡ししたい。

本日「下野市のれきぶんマップ」をお配りしたのでご活用いただきたい。次回の開催は3月12日(金)9時30分からを予定している。

- 青木委員長 ご苦労様でした。

5. 閉会

- 浅 香 以上で図書館協議会を閉じさせていただく。